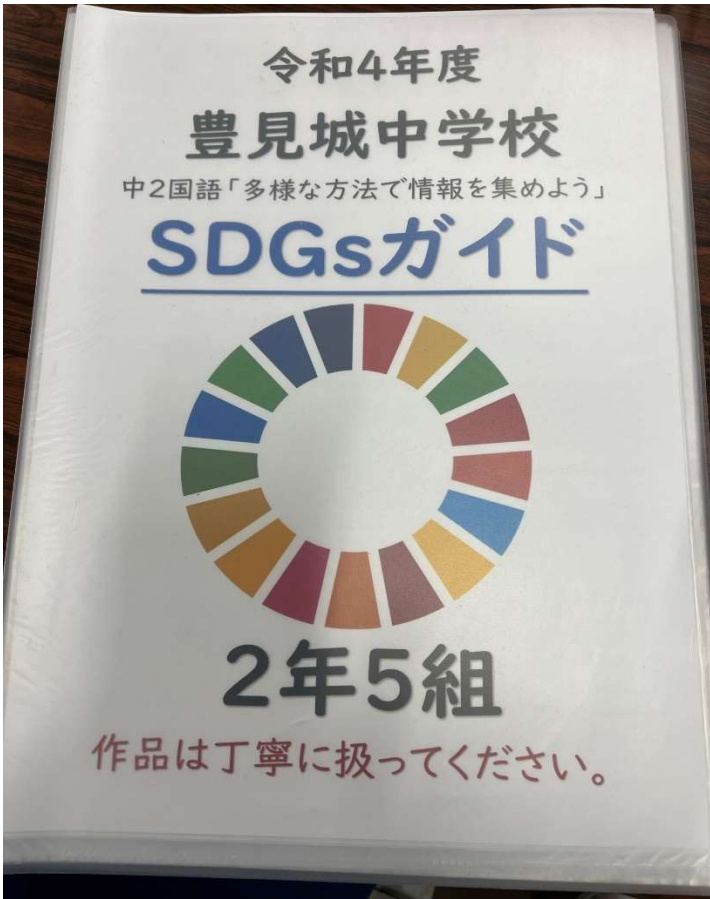


第2学年 国語科単元計画 (SDGs×国語科)

豊見城市立豊見城中学校 大城真紀子

教科	国語科	対象学年	2 学年	実施時期	5～6 月
単元名	SDGs ガイドを作ろう！【教材名：国語2「多様な方法で情報を集めよう」光村図書】				
評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使っている。【(2)イ】	「書くこと」において、目的や意図に応じて、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。【B(1)ア】	積極的に情報収集し、今までの学習を生かして自分の伝えたいことを明確にしながら、ガイドをまとめようとしている。		
単元計画	全6時間の指導と評価の計画				
	時	学習活動	留意点	評価	
	第一時	○多様な方法で情報を集めることができる。 ・学習の見通しを持つ。 ・様々な情報収集の仕方を考える。 ・SDGs の目標から1つテーマを決め、様々な方法で情報を集める。	★図書館利用 インターネット以外の情報収集の利点を踏まえ、多様な方法で情報を集めさせる。 SDGs スタートブックを活用し、SDGs の簡単な概要を説明する。		
	第二時	○集めた情報を整理することができる。 ・思考ツールを用いて、集めた情報を整理する。	★図書館利用 既習した単元の内容を活用させる。 (思考ツールの活用)	【知識・技能】 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート 思考ツールを用いた情報整理ができてきているか。	
	第三時	○情報を吟味することができる。 ・集めた情報を吟味し、自分が伝えたいことと整合性が取れているかを考える。 ・情報の内容を吟味して、紙面構成を考える。	自分の考えの根拠となる事実との整合性が取れているのかを考えさせる。		
	第四・五時	○SDGs ガイドを作ることができる。 ・整理した情報をもとに、SDGs ガイドを作成する。 ・出典を明らかにし、事実と意見を明確にする。	多様な方法で集めた情報を基に、自分の伝えたいことを明確にして書くことを意識させる。	【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 SDGs ガイド 多様な方法で集めた情報を用いて、伝えたいことを明確にして表現しているか。	
	第六時	○感想を伝え合うことができる。 ・友達の作成した SDGs ガイドを読み、付箋に感想を記入して、ガイドに貼る。 ・学習を振り返る。	字のきれいさなどの感想ではなく、内容や構成に注目して見ることを事前に確認しておく。		
<p>【成果と課題】</p> <p>○国語の授業において、身につけさせたい力を踏まえた上で授業を行ったが、SDGs について、深く考える時間となっていた。「SDGs を教える」ではなく「SDGs で教える」ができた)</p> <p>○目標を一つに絞ることで、現状や課題、具体的解決策などから、他の目標との関連まで考えを広げている生徒も多数みられた。</p> <p>○学校生活の中から SDGs と関連する事柄について考える機会が増えた。 (給食の食べ残し、節電、国際理解に関する作文応募など生徒の関心が高くなっている)</p> <p>●教科横断的な活動や学校全体での取り組みができていないため、国語の授業の一環として捉えている生徒がいる。総合的な学習の時間や他教科との連携が必要である。</p>					

【クリアファイルに入れて、学年フロアに展示】



【生徒作品】

3 すべての人に健康と福祉を

SDGs 目標【3】 「すべての人に健康と福祉を」について

2年組 番 名 前: _____

■SDGs 目標(3)とは?

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

■現状と課題

① 新型コロナウイルス感染症が世界的に大流行し、世界中で深刻な被害をもたらしている。(資料1)

② 高齢化が進む中で、高齢者の健康寿命が伸びていない。また、認知症の患者数が増加している。また、がんや心臓病などの慢性疾患による死亡者数も増加している。

③ 健康増進のための取り組みが、地域ごとに進捗が異なる。また、健康増進のための取り組みが、地域ごとに進捗が異なる。

④ 健康増進のための取り組みが、地域ごとに進捗が異なる。また、健康増進のための取り組みが、地域ごとに進捗が異なる。

⑤ 健康増進のための取り組みが、地域ごとに進捗が異なる。また、健康増進のための取り組みが、地域ごとに進捗が異なる。

⑥ 健康増進のための取り組みが、地域ごとに進捗が異なる。また、健康増進のための取り組みが、地域ごとに進捗が異なる。

⑦ 健康増進のための取り組みが、地域ごとに進捗が異なる。また、健康増進のための取り組みが、地域ごとに進捗が異なる。

⑧ 健康増進のための取り組みが、地域ごとに進捗が異なる。また、健康増進のための取り組みが、地域ごとに進捗が異なる。

⑨ 健康増進のための取り組みが、地域ごとに進捗が異なる。また、健康増進のための取り組みが、地域ごとに進捗が異なる。

⑩ 健康増進のための取り組みが、地域ごとに進捗が異なる。また、健康増進のための取り組みが、地域ごとに進捗が異なる。

⑪ 健康増進のための取り組みが、地域ごとに進捗が異なる。また、健康増進のための取り組みが、地域ごとに進捗が異なる。

⑫ 健康増進のための取り組みが、地域ごとに進捗が異なる。また、健康増進のための取り組みが、地域ごとに進捗が異なる。

⑬ 健康増進のための取り組みが、地域ごとに進捗が異なる。また、健康増進のための取り組みが、地域ごとに進捗が異なる。

⑭ 健康増進のための取り組みが、地域ごとに進捗が異なる。また、健康増進のための取り組みが、地域ごとに進捗が異なる。

⑮ 健康増進のための取り組みが、地域ごとに進捗が異なる。また、健康増進のための取り組みが、地域ごとに進捗が異なる。

⑯ 健康増進のための取り組みが、地域ごとに進捗が異なる。また、健康増進のための取り組みが、地域ごとに進捗が異なる。

⑰ 健康増進のための取り組みが、地域ごとに進捗が異なる。また、健康増進のための取り組みが、地域ごとに進捗が異なる。

⑱ 健康増進のための取り組みが、地域ごとに進捗が異なる。また、健康増進のための取り組みが、地域ごとに進捗が異なる。

⑲ 健康増進のための取り組みが、地域ごとに進捗が異なる。また、健康増進のための取り組みが、地域ごとに進捗が異なる。

⑳ 健康増進のための取り組みが、地域ごとに進捗が異なる。また、健康増進のための取り組みが、地域ごとに進捗が異なる。

■具体的な取り組み

健康増進に関する目標(SDGs)は、「エイズ、結核、マラリアなどの感染症の蔓延を2030年までに食い止める」という誓約を出しており、具体的に健康をすべての地域に普及させ、すべての人が安全かつ質の高い医療サービスを利用できるようにすること。実際に、マラリア対策、手洗いや手指のアルコール消毒を促す活動などが行われており、その結果、感染症の発生が減少している。

■調べてみて

今回のSDGsの目標「すべての人に健康と福祉を」について調べて、世界には私たちが想像できないような人々がいる人が存在している。十分な医療を受けられずに亡くなる人がいる。また、高齢者の健康寿命が伸びていない。また、認知症の患者数が増加している。また、がんや心臓病などの慢性疾患による死亡者数も増加している。

■参考・引用文献

・JPO/社会課題やSDGsに特化した情報メディア → 日刊工業新聞 (PR TIMES提供)

・EBC.com